



【プレスリリース】

ワーナーミュージック・ジャパン、神戸市と音楽を主軸とした事業連携協定を締結 ～音楽を通じた地域文化の活性化と経済の成長に向けて～

【2023年5月30日、東京】株式会社ワーナーミュージック・ジャパン（本社：東京都港区、代表取締役社長兼 CEO：小林和之、以下 WMJ）は、神戸市（市長：久元 喜造）と音楽を通じて神戸のひと、まちを元気にすることを目指し、このたび事業連携協定を締結しました。

WMJ は同社所属で神戸出身のアーティスト「Fear, and Loathing in Las Vegas」が市内で主催する音楽フェス「MEGA VEGAS」や若手アーティスト育成を目的とするオーディション開催を通じ、神戸でのアーティストの演奏機会を届け、ミュージックシーンの活性化に寄与すべく努めます。また同社は、アーティストとファンとの絆づくり等の文化的寄与のみならず、人流増加を通じた神戸経済の振興にもつながるよう目指します。神戸市は、イベント開催にかかる広報や音楽産業に関わる人材の育成等で WMJ に協力します。

SNS をコミュニケーションツールの中心に置く Z 世代にとって、音楽やエンターテインメントは重要視・支持されており、こうしたコンテンツは SNS を通じて広く拡散される傾向があります。神戸市ではこの音楽およびエンターテインメントを盛り上げ、若い世代に市の魅力を発信、認知度を高めると共に経済的な発展にもつなげることを目指しています。同市は現在、複数の民間企業と事業連携協定を結んでいますが、WMJ は音楽業界として唯一の協定先となっています。

当協定締結にあたり、久元市長は次のように話しています：「魅力的な神戸の街づくりを進めるうえで、音楽・エンターテインメントは大事な分野です。WMJ との連携により、魅力的なコンテンツが提供され、ワクワクするまちづくりや来街者の増加につながることを大いに期待しています」。

また、WMJ の小林は次のように述べています：「WMJ が神戸市の音楽シーンの活性化に向けて協力できることになり、非常に嬉しく思っています。私自身神戸出身で、歴史を礎とする神戸の文化的魅力は十分によく感じているので、多くの音楽ファンの方々に神戸でよい音楽を楽しみ、アーティストとつながっていただくことを願っています」。

（参考1）神戸市とワーナーミュージック・ジャパンとの事業連携協定の連携項目

- （1）神戸の魅力づくり・発信
 - ・音楽フェス「MEGA VEGAS」の市内定期開催
 - ・ふるさと納税を活用した神戸の魅力発信

(2) 音楽シーンに関わる人材の育成

- ・新型コロナウイルス感染症の影響で実践的な学びの場が少なくなった学生に対して、リアルな見学や体験を通じた学びの場を提供
- ・神戸市共催のロック・ポップスオーディション「battle de egg」への企画運営での参画、グランプリ特典としての楽曲配信
- ・イベント開催時のチャリティ活動

(参考2)「MEGA VEGAS」について

「MEGA VEGAS」は WMJ 所属で神戸出身のアーティスト「Fear, and Loathing in Las Vegas」が主催する、年一度、2日間の音楽フェス。「Fear～」の呼びかけに応じたアーティストが多数スペシャルゲストとして参加。今年3月の開催時には、ほぼ全てのチケットが SOLD OUT となった大人気のイベント。神戸の音楽シーンを熱く盛り上げている。グッズの売り上げの一部をチャリティとして寄付している。

「MEGA VEGAS 2023」の概要:

開催日: 2023年3月11日、12日

会場: 神戸ワールド記念ホール

後援: 神戸市、FM802、Kiss FM KOBE

企画制作: ワーナーミュージック・ジャパン

制作協力: KYODO OSAKA



* * *

<当社およびワーナーミュージック・グループに関する情報>

- ワーナーミュージック・グループ

(フォローはこちらから: [Instagram](#), [Twitter](#), [LinkedIn](#), [Facebook](#))

- ワーナーミュージック・ジャパン <https://wmg.jp/>

(フォローはこちらから: [Instagram](#), [Twitter](#), [Facebook](#))

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社ワーナーミュージック・ジャパン 広報 戸塚

電話: 070-3863-3570 メール: marina.totsuka@warnermusic.com

以上